

横浜市青少年指導員
シンボルマーク



みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会

第39回ボイス・オブ・ユース開催 令和元年12月1日



オープニング 蒔田中学校吹奏楽部

令和元年12月1日、みなみん（南公会堂）において第39回ボイス・オブ・ユースが開催されました。記念式典では厳粛な雰囲気の中、来賓の皆様よりご祝辞をいただきました。引き続き優秀作文の表彰、発表が行われました。

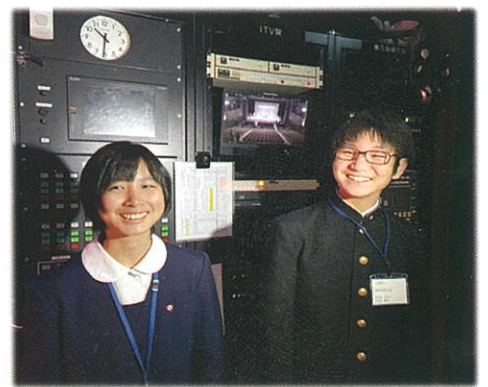
作文表彰、運営、エキシビジョンの演奏、それぞれに参加の形は異なりますが、皆がひとつになって式典を開催、感動の一日となりました。



司会 一語一語はつきりと



受付、会場案内
来賓の方のお迎え



音響照明 笑顔で活動

令和元年度(39回)
ボイス・オブ・ユース
青少年の主張

ボイス・オブ・ユース(青少年の主張)は青少年指導員と小中学生のボランティアが協力して運営します。ボランティアの内容は受付、介添、音響、司会、誘導案内係と多岐にわたります。午前中は各担当の青指の指示を聞いてから、本番までのリハーサル、受付設置などの準備を行いました。

午後1時になり本番スタートです。今年は、蒔田中吹奏楽部の演奏で始まりました。私たちスタッフの目にはリハーサルから一生懸命に取り組んでいた姿が重なります。若々しい元気一杯の演奏は観客の皆さんの胸に響いたことでしょう。

今回は応募作文2,588編の中から68編が入選しました。この中から選ばれて発表された15本の作文は、どれも本人達の主張が熱く込められており、その熱がひしひしと伝わり、感動を与えてくれました。(加藤、門井)



山崎会長との顔合わせ

～開演前の感想～
会場案内担当 井土ケ谷小
「きちんと案内できるか不安」



～開演前の感想～
会場案内担当 南が丘中
「失礼のないように対応したい」



～開演前の感想～
表彰介添担当 南吉田小
「緊張しています」



★開演後の感想
受付担当 平楽中
「学校生活にボランティア体験が活かせる」



作文で伝えたいことがある



南区連合町内会連絡協議会
吉井会長のご挨拶



松山南区長のご挨拶

～受賞者の感想～

表彰式に参加して

南小学校5年 山田 奈菜

私は、表彰式に初めて参加しました。まさか、自分の作文が選ばれるとは思っていなかったで、とてもおどろきました。でも、同時にうれしい気持ちもありました。そして、いよいよ発表の日が来ました。会場につくと、ホールはとても大きくて、人もたくさん来ていたので、とても緊張しました。でも、このような場で発表できる事はなかなかないので、自信を持ってがんばりました。また、お兄さんやお姉さんの発表を聞くことができ、とても勉強になりました。



蒔田中学校2年 磯島 虎紀

私は、夏休みに書いた作文が賞を取りました。まず驚いたのは、テーマ「その他」で説明文を書いたのに入選したことでした。青少年の主張なら何を書いてもいいんだと思いました。他の人の作文のレベルの高さにも驚かされました。とくにすごかったのは、「止めて、行く方向に向けて…」という作文です。文章が色々な方向に展開していて、とても文章力があると思いました。中学生が運営をしているのもすごいと思いました。



今回の体験を生かして

藤の木小学校6年 梅村 月奈

私は、このスピーチコンテンツに参加するにあたり、本を多く読み、文をたくさん考えました。読解力がつき、文章力がついたような気がします。また、スピーチコンテストで自分の考えを発表したことにより、南区の代表に選ばれたわけではありませんが、自分に自信ができました。そして、今回ボイス・オブ・ユースで選ばれ、感想文を書けることがとても嬉しいです。来年度中学生になるのでこの体験を生かして、色々なことを頑張っていきたいです。



第39回 ボイス・オブ・ユース審査経過報告

・募集期間

令和元年8月1日から8月30日

・作文応募数

2,588編

・選考にあたって

9月7日に南区青少年指導員83名により、一次選考を行いました。

一次選考で約五分之一、618編の作文が審査を通過いたしました。

618編を南区青少年指導員183名の所属する16地域に振り分けて二次選考会を行いました。

その後、9月24日に実行委員会にて最終選考会を行い、68編を入選作として決定いたしました。

第39回 ボイス・オブ・ユース応募・入選作文数総括表

テーマ	小学生		中学生・高校生・一般		外国語作文		合計	
	応募数	入選数	応募数	入選数	応募数	入選数	応募数	入選数
1 地域活動に参加して (ボランティア、まつり、青少年指導員の活動〔キャンプ・ボイス等〕に参加して感じたことなど)	68	3	64	2	0	0	132	5
2 私の夢 (将来の夢・こんな大人になりたいなど)	240	6	463	10	1	1	704	17
3 私のまち・学校・友達・家族 (みんなに自慢できるあんなこと、こんなこと)	75	2	109	4	6	1	190	7
4 ルールとマナーに向き合う (スマホ、ゲーム、酒、たばこ、薬物など)	144	5	418	7	0	0	562	12
5 自由課題	379	11	621	16	0	0	1,000	27
合計	906	27	1,675	39	7	2	2,588	68

全市統一行動 社会環境健全化 キャンペーン

啓蒙チラシ手渡しでアピール

12月1日(日)ボイス・オブ・ユース開催当日、京急弘明寺駅前にて社会環境健全化キャンペーンを実施しました。

当日は天候も晴れで、京急や地下鉄を利用する方々や弘明寺商店街のいろいろなお店への買い物客も含めた多くの人たちに、ボイス・オブ・ユースの概要と青少年指導員の活動を紹介したチラシを、より多くの方に理解していただけるよう、景品(ガゼ付絆創膏)とともに配布しました。短い時間ではありましたが男女を問わず多くの区民に情報は伝わったものと思います。

ただ、現在子育て中の若い世代では、ボイス・オブ・ユースの存在や青少年指導員の活動をご存知なかったりする現実があり、活動への理解の難しさを実感いたしました。また、子どもさ



弘明寺商店街にて啓蒙チラシ配布の様子

んはチラシなどに興味があっても、母親は「持ち帰るとゴミになる」と受け取りを強く拒むような事例もあり、残念な感じを受けることもありました。

ただ、これまで何らかの形で地域活動等に関わった経験のある方々(特に高齢者)についてはキャンペーンに関心をもっていたり、いろいろな面でご理解をいただけたのはとても励まされました。(六ツ川地区 瀧川)

市青指研修会開催



今年度は中区の主催で、9月8日(日)に横浜市開港記念会館で行われました。

オープニングを飾ったのは横浜市立北方小学校の児童とNPO法人ZERO Double Dutch & Gymnastic Activityによるダブルタッチでした。これは2本の長なわでリズムよく跳びながらさまざまな技を織り込む競技で、技をバッチリ決める姿に会場はすっかり魅了されました。

その後、柳澤横浜市青少年指導員連絡協議会会長、来賓の竹前中区長の挨拶があり、続いて中区青少年指導員の行事の報告がありました。

休憩をはさんで日本語支援拠点施設「ひまわり」



の出川進校長先生による講演が行われました。ここは、日本語が話せない帰国子女や外国人の子ども向けに日本語を週に3日(水、木、金)、4週間を1期間として教える施設です。週2日(月、火)は地元へ登校する日にあて、「ひまわり」だけに『定着』してしまわないように配慮しているそうです。

現在、横浜市は大阪市に次いで外国人住民が多い市で、最も多いのが中区、2番が鶴見区、南区が3番目との説明がありました。日本語が話せないまま地元の小、中学校に転入し孤立してしまう子どもたちもあり、「ひまわり」はそういう子どもへの支えになるよう活動しているそうです。

タガログ語、中国語を使ったロールプレイの中で文字が読めないことによる不安を体験させていただきました。小さな子どもたちがこのようなつらい体験をしているかと思うと、大変切ない気持ちになり、各区に「ひまわり」のような施設が設置されるなど、このような制度の充実が求められるのかな、と考えさせられました。

次回は港南区の主催となります。(加藤)



市青指大会中止に 20年を振り返って(20年顕彰者)

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため3月8日(日)開催予定でした横浜市青少年指導員大会が中止となりました。

今回は20年、15年、10年の顕彰者のみなさま方のお名前と、その際に配布される予定でした20年顕彰の方々の感想を掲載いたします。

★20年顕彰 5名

すずき とみ
鈴木 富

活動を通して多くの人に学び、色々な方からお世話になっているうちに、早や20年。これまでの全ての人たちに感謝します。今後も元気で頑張ってまいります。

ますだ あつこ
増田 厚子

20年間の青少年活動を振り返ると楽しさの連続でした。みなと祭りは印象的でボランティアの学生達とのふれ合いはとても充実感があり毎年の楽しみの1つです。

ごとう しげる
後藤 茂

あっという間の20年でした。これも仲間の支えがあればこそと思っています。今後も微力ではありますが、地域のお役にたてれば幸いです。

やすだ ひろゆき
安田 浩之

『気が付けば20年』というのが真の感想で、自身の活動が如何なる実績を残したかは甚だ疑問ですが、私なりのスタンスでもう少しお手伝いしてみます。

よしかわ まさよ
吉川 昌代

子ども達の笑顔に出会いながら、周りとのご縁を増しながら年々有意義にすごすことが出来感謝です。子ども達の成長に倣って私たちも成長し続けたいです。

★15年顕彰 1名 竹内 祐治

★10年顕彰 18名

- | | | |
|-------|--------|-------|
| 小林 孝伸 | 越中谷 真喜 | 志田 宣雄 |
| 若林 雅人 | 門井 由美子 | 青木 慶一 |
| 近藤 建 | 目黒 明子 | 宮坂 隆行 |
| 内田 豊秋 | 井筒 元 | 濱 哲夫 |
| 蔭山 照文 | 加藤 春哉 | 日下部 薫 |
| 片岡 秀一 | 新井 浩 | 小出 将人 |

堀ノ内・睦町地区紹介

堀ノ内・睦町地区は睦4町内会、堀ノ内8町内会で合計12町内会です。

青少年指導員は9人で活動しております。

活動は①10月27日・第35回連合運動会②第46回カルタもちつき大会③その他、地域の防災訓練、堀・睦まつり、カラオケ大会等があります。



青少年指導員の紹介 鈴木・高藤・中林・片岡

① 高藤正明(地区長) 睦町一丁目中町内 五期目、地区長3年 運動会・カルタもちつき	② 秋元優一 睦町一丁目西町内 四期8年	③ 田中美奈子 睦町二丁目町内 一期1年 運動会・カルタもちつき
④ 鈴木良雄 堀ノ内一丁目東部町内 六期12年 カルタもちつき	⑤ 矢口泰 堀ノ内二丁目第二町内 一期2年	⑥ 中林忠彦 堀ノ内二丁目第三町内 三期6年 カルタもちつき
⑦ 松井翔太 堀ノ内公舎 前スポ推進委員1年 青少年指導員一期1年	⑧ 中村美幸 堀ノ内山ノ手町内 一期2年 運動会・カルタもちつき	⑨ 片岡秀一(会計) 堀ノ内二丁目台町町内 五期10年 運動会・カルタもちつき

毎年恒例の第46回カルタもちつき大会は1月12日(日)に開催されました。

天候に恵まれ、役員を除き173名の申込みで、怪我もなく全町内の方々が参加されました。役員はスポーツ推進委員・青少年指導員・子供会・その他



編集委員から



広報部に入って二年、皆さんの広報物に対する真剣さ、繊細さに驚かされました。なかなか協力出来ず、申し訳ありません。(小島)

広報部会員になって2年が経ち、ようやく全体の流れが分かってきました。来年度もいろいろな活動を皆様に分かりやすく伝えられるようがんばります。(稲垣)

いつの間にか6年経ってしまいましたが、広報部の皆さんの支えや、事務局の方々のサポートで何とかやって来られました。実は、部会後のささやかな飲み会が原動力だったかも？(今井)

地区紹介の記事を「吉田新田」に関連づけて書けたこと、夜の「懇談会」など、楽しい思い出です。また、何処かでお会いしましょう！(鈴木)

今回初めて青指になり、その上に広報部会員も引き受けてしまいました。1年目は何をすればよいかもわからず、2年目になり、ようやく部会にも慣れやっと部員になれたような気がします。

青指になってよかったと思える2年間でした。(平野)

毎回、参加出来ていませんが、明るく迎えて感謝しています！(上妻)

新型コロナウイルスが世界中を席捲し、青指の活動や行事もやむなく中止の事態となりました。何気ない日々大切に身に沁みます。桜の花も寂しそうです。(門井)

編集会議を重ねて出来上がった「みなみ青指だより」は、すべてがメンバー全員の熱い思いの集大成ですね。青指の活動についても理解が深まりとても充実した2年間でした。(山田)

10年続けた青指。その中で「青指だより」作りは青指活動が豊かになる有意義なひとときなのです。(加藤)

青少年指導員に着任して今年で10年になります。仕事もそろそろ定年を迎え、節目の年になりそうです。青少年指導員も定年まで続けたいなあ〜。広報部会も居心地がいいですよ。(青木)

原稿ではすべてを表現できませんでしたが、各地区のメンバーと楽しく「青指だより」を発行できました。次期紙面も楽しみに！(内田)

青指になって10期目の春を迎えています。「この次はもうちょっといいものを」と思いながらの「青指だより」の編集、歳とともにくたびれますが、楽しんでおります。(黒住)



編集後記

「みなみ青指だより」第60号が出来上がりましたのでお届けします。

横浜市の青少年指導員も第26期(平成30年4月から令和2年3月)がこの3月で終了し、広報部会も、来年度新たなメンバーで活動が再開します。

第60号はそのことも踏まえ、各メンバーに一言この2年間の思い出などを語っていただきました。

南区の広報は、今期新たなメンバーによる原稿の作成や編集によって、また新しい「みなみ青指だより」をお届けできたと思っています。

それも、広報部会の皆さんの積極的な参加でより良い広報にしていこうという気持ちが今期の広報部会を盛り上げていただいたと思っています。

最後になりますが、この広報誌が、今後とも南区の青指や地域の方々に読まれる親しみやすい紙面になるよう頑張ります。(大川)

上半期、青指行事予定

- 5月24日 南区青少年指導員協議会新任者研修会
- 6月24日 区内小学校児童支援専任教諭と中学校生徒指導専任教諭との打合せ会
- 7月31日~8月2日 御殿場ふれあいキャンプ2020
- 7月(予定) 全市一斉統一行動パトロール
- 7月(予定) 第45回南まつり

編集委員

広報部会長

六ツ川地区	大川 博
お三の宮地区	小島 孝幸
太田地区	稲垣 恵子
太田東部地区	今井馨太郎
寿東部地区	鈴木 富
中村地区	平野 直子
蒔田地区	上妻 慎
堀ノ内睦町地区	
井土ヶ谷地区	門井由美子
南永田山王台地区	山田 智久
北永田地区	加藤 春哉
永田みなみ台地区	
六ツ川大池地区	青木 慶一
本大岡地区	内田 正幸
大岡地区	濱 哲夫
別所地区	黒住 直

広報部会担当役員

別所地区会長 後藤 茂

訃報…太田地区会長渡邊裕さん(協議会副会長)が令和2年3月1日にお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表します。

編集発行 南区青少年指導員協議会
事務局 横浜市南区地域振興課内
印刷 株式会社ジュエル印刷